

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111【代表】

人 口

—— 3 月 31 日現在 ——

9,179人 男…4,476人
女…4,703人
世帯数……………2,584
転入 60 出生 8
転出 142 死亡 9

町民文芸

肥後狂句

前向きで チークダンスは媽アちゃん
不要品 百億もするF15
不要品 非行促す販売機
前向きで 暴力沙汰も無ア母校
前向きで 防衛費だけ伸びのえゝ
嬉しい酒 戦友会ア山の宿
不要品 窓際族イゴ栄転
言うな 病名だけで早よ死ぬる
嬉しい酒 氣に入る壺の焼きあがり
前向きで 雑草の如つ生きた母

俳句

花の雨明日が見頃と思ひしに
旅立ちの前苗のことあれこれと
ふらここの揺れ残り居て人見え
ず揚ひばり阿蘇カルデラの一点に
鶯やあかぬ眺めの阿蘇五岳
松籟や鶯の声おちこちに
登り来て庭園つつじまだ蕾
団欒の外は新樹のもえる丘
竹やぶの風のみさわぎ花曇り
花に憂き預けて山の湯に浸る
湯ぶねより望む火口瀬花曇り
草青む牧場で山の神祭り
植樹祭終えて楽しき酒の味
日の温み少し残して春の夜具

国鉄高森線を利用しよう

咲き競うツツジの花

町の新庁舎を見降ろす高森平和塔公園の高台に、こしもみごとにツツジの花がおおいました。咲き乱れるツツジは約二千本。町が「観光名所の一つにしよう」と、五年前に植えたクルメツツジ、サツキなど五、六品種。いまを盛りと赤、ピンク、白、紫など色とりどりの花が、園内から国道にかけて咲き誇り、訪れる人たちの目を楽しめています。町では、今後も増植して樹数をふやし、花いっぱいのにぎやかな場にするにしています。



第285号
昭和58年 5月

おめでたおくやみ

S 58. 3. 16~4. 15 受付

出 生		(出生兒)(性別)		(出生)
(住所)	(保護者)			(年月日)
戸中旭	狩園通	有智美	貴美穗	女女 58. 3. 20
森	手本興	和	寬	女女 3. 24
昭草	上村田	和	寬	女女 3. 25
野尾	斐井高	和	寬	男男 3. 26
	瀬戸高	和	寬	男男 4. 11
		和	寬	男男 3. 30
		和	寬	男男 3. 25
		和	寬	男男 3. 31

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死年月日)	(死亡)
昭前	伯牧	養父	學子平二	77	58.	3.17
洗倉	佐荒後	妻	ぶ嘉吉	77		3.18
小天井	村島	父	平二嗣子	93		3.23
草津	佐本	2男	吉セツ	4		3.24
矢尾	岩佐	父母	ツヤ利	81		3.27
河	本甲	父母	ミツアサ	81		4.5
	後藤	母	ツヤ利	70		3.21
			セツ	73		4.19
			ミツアサ	77		4.1
			セツ	73		4.

結 婚

氏 名	住 所	婚姻届年月日
夫 津留 新二 妻 (米田) 久仁子	高森・上在 菊池市	58. 3. 23
夫 高田 廣 妻 (有富) 辰子	高森・昭和 玉名郡三加和町	3. 29
夫 秋山 高士 妻 (千葉) 秀美	高森・昭和 水渡市	4. 13
夫 工藤 英雄 妻 (藤田) 順子	菅山・水湍 宮崎県五ヶ瀬町	3. 31
夫 甲斐 隆 妻 (茂田) 弘子	菅山・枋原 球磨郡球磨村	4. 11

（こ）
（寄）
（付）

ありがとうございました

梅の香のかたまりて来し風の道
陽炎を背に草を食む仔牛かな
春めきて銀杏の大影地に落つる
留守の家花のじゅうたん紅椿
根子は雪大戸の口の玉じやくし
空晴れて春リンドウの笑顔かな
芽吹く枝重たさまして光あり
腰下し一服裸樹の芽吹き見る

後藤 やよい
本 田 訓子
後藤 法龍
森 政隆
本 田 初男
森 スガ
後藤 チエ
後藤 春嵐

◎老人クラブ

▽上色見洗川の後藤仁さんから根子岳会と洗川老人クラブへ金一封

▽高森昭和の岩下昭生さんから昭和会へ金一封

▽尾下下山の甲斐孝さんから「はまとこ会」へ金一封

◎町社会福祉協議会
△香典返しにかえて▽
▽色見井上の岩下敬公さ

▽上色見前原の荒牧英信さんから
（妻、のぶ子さん・27歳死去）
▽上色見洗川の後藤仁さんから

▽色見井上の岩下敬公さんから
(母、セツさん・81歳死去)

▽上色見洗川の後藤仁さんから
(父、嘉平さん93歳死去)

▽大字河原の後藤慧さんから
(母、アサエさん・73歳死去)

▽高森天神の島田頼男さんか
(父、吉嗣さん・81歳死去)

◎その他の索付

▽尾下下山の甲斐孝さんから尾下小学校に金一封

▽高森昭和の岩下昭生さんから各小学校・保育園に「熊本の民話のスライド三巻一セット

▽矢津田赤羽根の本田琢雄さんから青少年育成町民会議草部支部へ金一封

おもな内容

- ☐ 新しい町長・町議員決まる……………(2)～(3)
- ☐ 岩下町長、感慨深げに退任……………(4)
- ☐ 全国青年農業者会議に参加して……………(5)
- ☐ 32年ぶり「衣そそぎ」(洗川地区)……………(6)
- ☐ 国保家庭に無償で救急箱……………(6)
- ☐ みんなの広場・質問箱……………(9)

休日
在宅医

診療は午前9
時から午後5
時まで

火事・救急車は 當119へ	6月5日 當小 ②0075	5月29日 當上 ⑤0336	5月22日 當後 ⑦0019	5月15日 當渡 ⑦1777	5月8日 當立 ⑧0111	5月5日 當寺 ②0378
	林医院	村医院	藤医院	辺医院	野病院	崎医院

投票率、前回並み

統一地方選 男95% 女96%

改選期を迎えて激しい選挙戦を繰り広げていた私たちの町の町長・町議会議員選挙は四月二十四日、行われ、即日開票の結果、町長に新人で元助役の瀬井浪夫氏が初当選、新しい町議員十六人の顔ぶれも決まりました。

《町長選得票》

◇候補者 二人
当 三三三 瀬井 浪夫 63 無新
三〇一〇 津留今朝寿 39 無新

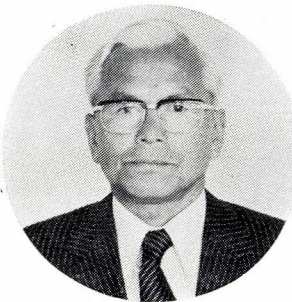
《町議選得票》

◇候補者 十八人
定員十六人 (得票順位)

当	四九七	志柿	末浩	57	無現
当	四七八	草村	照	50	無現
当	四二九	住吉	昭泰	49	無新
当	四二〇	遠山	哲夫	58	無新
当	三八四	瀬木野	幸男	55	無新
当	三七三	児玉	国広	45	無新
当	三七三	熊谷	宗人	51	無現
当	三七〇	桐原	郁雄	51	無新
当	三五四	宇藤	千寿	56	無現
当	三四〇	後藤	松男	45	無新
当	三三三	瀬井	常助	59	無新
当	三三二	六八			
当	三三一	本田	嘉達	47	無現
当	二九六	中川	清澄	60	無現
当	二九二	三八一			
当	二七二	岡本	伝	62	無現
次	二五九	後藤	幸充	57	無現
次	二〇八	野尻	昭光	53	無新

新たに決意の展

町長・町議員決まる



高 森 町 長
瀬 井 浪 夫

不肖、私さる四月二十四日の町長選挙において、町民の皆様はじめ各方面の力強いご支援ご支持をいただき町村合併後第三代町長として四月三十日から就任できましたことを衷心より厚くお礼申し上げます。

住民参加の町政が基本

私はこれまで約十二年間助役として、町政の一端に参画してまいりました。助役時代にも多くの住民にお会いする機会がありました。選挙の洗礼を受ける立場で町民に直接触れ合い、生の声を聞いて、あらためて政治を志すものの自覚と町民が何を求めているかを身にしみて、ひしひしと感じるとともに、町長の責務の重大さを痛感いたしております。町には農業基盤の整備、商工業の

追 想

上色見中原 榎木野 ムツ子

みんなの広場



亡き父の枕辺に咲く一輪の梅花に写る日々の想い出
私の父は老衰で、ろうそくのろうがつき果て、だんだんと火が細くなって、消えていくようにしてこの世を去りました。九十五歳でした。死の直前、筆で「生」という字を書きました。後に続く字は流れて読めませんでしたが、私には「生命の完了」と書きたかったと擦りました。

筆は父の心でした。耳の不自由な父は、筆で書くことによって、老いた日の生活を送っていました。筆を愛し、詩を愛し、自作の歌集は父の宝でした。そして書くことが最高の趣味でした。
また、健康のことなども良く考えていました。心の健康には特に気を配り、余裕と節度を持ち、趣味を持って、不平よりユーモアを

個人事業主の退職金制度は

【問】現在四十五歳、小売業で生計を立てています。老後の生活が心配で国民年金には加入していますが、一般の会社のような退職金があれば老後の生活設計も楽になります。あれば教えてください。

【答】こうした希望を持っている人のために国は「小規模企業共済」制度を設けています。この制度は国が全額を出資している小規模企業共済事業団が行っています。

加入資格は、常時使用する従業員が二十人（商業とサービス業では五人）以下の個人事業主および会社や企業組合・協業組合の役員の方々です。ひとり、あるいは家族だけで事業を営んでいる方、また自由業の方もこれに加入できます。毎月の掛け金は最高三万円まで自由（最低千円で五百円



国の小規模企業共済に加入を

たことも、多くの方々のご支援とご協力があったから」という喜びと、お礼の意味に見えました。
高齢化社会で一番大切なことは、常々若々しい気分、明るく新しい知識や趣味を求めて、張りのある生活を送ることだと、父を亡くしてわかりました。父が老後にとった態度を、私なりに少しでも見習うつもりです。

ご芳志に感謝します

養護老人ホーム 湯の里荘
なりになり、ご長男の敬公さんから「お年寄りの生きがいのために」と、百万円のご寄付をいただきました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

お知らせのページ

国税専門官試験
の願書はお早く

人事院では、今年も例年どおり「国税専門官」の試験を行います。

受験資格は、昭和三十一年四月二日から昭和三十七年四月一日までに生れた者で、試験は大学卒業程度のものとなっています。

受験願書の受付は、五月十六日(月)から五月二十三日(月)までです。

詳しいことは、人事院九州事務局のほか、国税局又は最寄りの税務署にお問い合わせください。

中小企業の設備
貸与の申込みを

熊本県中小企業振興公社では、設備貸与の申し込みを受け付けています。

設備貸与制度とは中小企業(製造業、小売業、卸売業、サービス業など)の設備の近代化、合理化を図るため、企業者から申し込みのあった機械設備を公社で購入し、長期低利の月賦償還によって企業者に譲渡するものです。

○貸与限度額 一企業二十万円で上二千万円まで

○貸与(償還期間) 四年六カ月

○貸与損料(金利) 貸与残高に對し年五%

○保証金 貸与額の十%

○申込時期 商工会議所、商工会にて随時受付。三百五十万円超は五月末から奇数月末毎締切り。三百五十万円以上は月一度締切り。申込書は商工会へ。

今月の支払日

(月) 6日
(火) 16日
(水) 25日

町役場の支払日は、事務整理の都合上、勝手ながら五のつく日に定めています。ただし、当日が土・日・祭日にあたる場合は翌平日になります。支払時間は午前九時から午後三時までです。

林業総合センター

喫茶コーナーも
ご利用ください

役場庁舎に併設した林業総合センターは、昨年十二月オープン以来、みなさんにひらくご利用いただいています。このほど同セン

ター内の喫茶コーナーも営業を始めたので、コミュニティの場として、お気軽にお立ち寄りください。

林業研究クラブ
結成で会員募集

産業観光課

本町においては総面積の七八%が林野面積であり、その大部分は戦後の拡大造林によって造成されたものです。したがって、今後十年から二十年の間には主伐期を迎えるわけですが、概して粗放山林が多く、このままでは優良材の生産は出来ない現状です。

そこで高森、色見地区を対象として林業研究クラブ結成の気運があり、町でも同クラブ結成に向けて力を入れているところです。

林業研究クラブは、会員相互の連けいによって各種の研修・研究を進め、銘柄材の生産基地づくりを目指し、本町の林業振興に役立てようというものです。林業や山林経営に関心のある方ならどなたでも参加できます。詳しくは産業

木材共販市況

4/14市況		高森町森林組合	
スギ	長さ	安値	高値
4 m	7~13cm	12,000	18,000
	14~22	24,000	30,500
	24~28	28,500	37,000
	30上	31,000	38,880
3 m	7~12	10,500	16,500
	13~18	20,800	26,000
	20~28	24,000	32,000
	30上		38,800
2 m	7~14	10,000	12,000
	16~28	12,500	17,210
ヒノキ	4 m	42,500	45,000
	11~13	40,000	48,300
	14~22	45,000	48,400
	24~28		
3 m	10~12	16,000	27,600
	13~18	41,000	43,000
	20~28	59,000	
	30上		
2 m	16~28	21,000	28,300
	30上		
6 m	13~18	42,100	71,000
	20~28	71,600	73,700

観光課農林振興係までお問い合わせください。

国民年金の現況
届は31日までに

国民年金の障害年金や母子・準母子年金、遺児年金、寡婦年金を受けておられる方は、毎年一回、五月三十一日までに「国民年金受給権者現況届」を市町村役場を経由して社会保険事務所へ提出しなければなりません。この現況届は受給者の生存確認などをするための重要な手続きです。

不用犬、野犬を引き取ります

阿蘇保健所では、毎月第一木曜日に不用犬や捕獲した野犬などを引き取っていますので、ご希望の方は町民課保健衛生係へご連絡ください。ただし、五月は十八日に予定しています。

28日は無料法律相談日

場所 町民センター
時間 午後一時から

町発

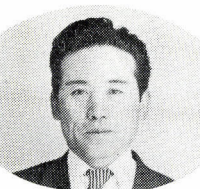
新しい

よろしく

新議員の
みなさんです

榎木野 幸男 55歳

桐原 郁雄 51歳



- ① 農業
- ② 上色見中原
- ③ 高等小卒
- ④ 農協養蚕支部長、畜協代表幹事
- ⑤ 無所属

- ① 農業
- ② 高森上在
- ③ 熊本農卒
- ④ 農協理事、前農業委員会副会長
- ⑤ 無所属

志柿 末浩 57歳

住吉 昭泰 49歳

児玉 国広 45歳

宇藤 千年 56歳



- ① 会社役員
- ② 高森上町
- ③ 旧制大津中卒
- ④ 厚生委員、商工会理事
- ⑤ 無所属

- ① 製材業
- ② 高森昭和
- ③ 中央大卒
- ④ 元高森小PTA会長、元部P連会長
- ⑤ 無所属

- ① 農業
- ② 尾下牧戸
- ③ 野尻中卒
- ④ 町体育指導員、元農業委員
- ⑤ 無所属

- ① 農業
- ② 色見西丁
- ③ 特修科卒
- ④ 建設委員、安全協会色見支部長
- ⑤ 無所属

草村 照 50歳

遠山 哲夫 58歳

熊谷 宗人 51歳

後藤 松男 45歳



- ① 会社役員
- ② 高森昭和
- ③ 高森中卒
- ④ 経済委員
- ⑤ 無所属

- ① 農業
- ② 菅山
- ③ 高等小卒
- ④ 高森農協理事、前農業委員
- ⑤ 無所属

- ① 農業
- ② 津留仲江
- ③ 高等小卒
- ④ 経済委員、前畜協理事、元農業委員
- ⑤ 無所属

- ① 農林業
- ② 河原
- ③ 河原中卒
- ④ 元河原保育園父兄会長
- ⑤ 無所属

よろしく・新議員のみなさんです



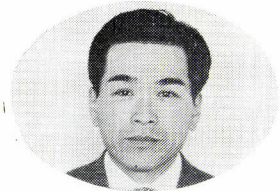
瀬井常助 59歳

- ① 農業
- ② 津留
- ③ 高等小卒
- ④ 森林組合理事、元町消防団副団長
- ⑤ 無所属
- 当選1回



中川清澄 60歳

- ① 商業
- ② 高森上町
- ③ 旧制大津中卒
- ④ 建設委員長、商工会理事
- ⑤ 無所属
- 当選3回



本田嘉達 47歳

- ① 農林業
- ② 中・中村
- ③ 阿蘇農卒
- ④ 建設委員、元草部北小中PTA会長
- ⑤ 無所属
- 当選2回



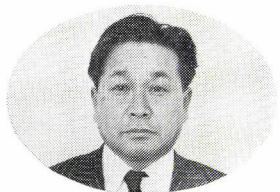
本田国男 54歳

- ① 無職
- ② 高森上在
- ③ 高等小卒
- ④ 厚生委員、地区労働議長、少年指導員
- ⑤ 日本社会党
- 当選2回



山村英男 53歳

- ① 司法書士補
- ③ 高森下町
- ③ 鎮西簿記卒
- ④ 町副議長、元町体協理事
- ⑤ 無所属
- 当選6回



岡本伝 62歳

- ① 農業
- ② 芹口
- ③ 高等小卒
- ④ 経済委員、元農協理事、元農業委員
- ⑤ 無所属
- 当選2回

4期 感慨深げに

岩下町長 職員に送られ退任



女子職員からお別れの花束を受ける岩下町長

「岩下町長ご苦労さまでした」「いつまでもお元気で」―四十二年町長に初当選以来、四期十六年間首長の座にあった岩下八束町長の退任式が四月二十八日午後四時から林業総合センターで行われました。

町職員はほとんど約百二十人を前に岩下町長は「永い間私を暖かく育て支えてくれてありがとう。私が無事勤め終えることができたのも、戦中、兵隊として東南アジアを転戦し、極限の耐乏生活を乗り切った不屈不倒の精神が大きな励みとなっていた。いま行財政は厳しい局面を迎えているが、職員は新町長を軸に一致結束して、

式のと同時町長は職員代表から花束を受け、大きな拍手に送られて町役場を去りました。

町長は二十二年旧高森町にござ奉職になり、町村合併後は助役として三期十二年間勤められ、その後、四十二年町長選に初出馬して当選。今日まで四期十六年(二期無投票当選)間、町政の推進にあたられました。

高森百景

<17>

豆塚

高森町市街地の西北約一キロ、白水村境の畑地帯の一角に、おわんを伏せたような、かなり大型の塚があります。豆塚と呼ばれていますが、馬見塚が本当だという説もあります。前方後円型式の古墳であろうといわれていますが、まだ詳しく解明されていません。

究家である本田秀行氏によれば、生産力の極めて低い瘦蕨のこの地帯に、豪族が勢力の根をおろしていたとは考えられないと語っています。

何百年の風雪に耐えてきた巨大な老松二本が趣きを添え、農作業に汗を流す人たちにひとときの憩いの場所を与えてきました。最も姿のよかった一本に



巨大な老松が趣きを添える豆塚

前方後円型式の古墳?

は空洞ができ、それに火が入り枯死倒伐の悲運を迎えました。その後、町の観光課やライオンズクラブの人たちによって、竹やぶの刈払いや、樹木の植栽が行われ、公園化が進められてい

るようですが、私見としては、他某の古墳であっても、ここにむやみに立ち入って、土足で踏みつけることは遠慮していただきたいと思います。広い野原に放たれた馬の動静を展望するた

めの馬見塚であったと実証される日までは――。

いま、この豆塚の近くを国道三二五号線のすばらしいバイパスが開通し、車の往来も逐次激しくなってきました。豆塚が史蹟名勝として名をなす日の訪れるのも遠くないと思います。

内田秀憲

予防接種の知識

ポリオ生ワクチン

2回の接種で免疫

ポリオ生ワクチンは、生後三か月から四十八か月(できるだけ十

週間以上離れていれば少々間があいてもかまいませんが、完全に免

疫をつくるために、必ず二回受けるようにしてください。

ワクチンは甘いシロップ液になっており、少量を小さなビペット(目盛りのついたスポイト)で飲めばよいので、嫌がって吐くことはあまりありません。もし、ワクチンを半分以上口から出してしまったときは、もう一度飲まなければなりません。ワクチンを飲むことによって、その中に含まれてい

るウイルスが腸の中で増え、腸に免疫ができるのです。

腸内でウイルスが増えたと、当然、大便に混ざって排せつされます。ワクチンに含まれているウイルスは毒性を弱めてありますが、排せつ物を通して人から人へ感染していく間に、強い毒性を持つようになるところがあります。その結果、ごくまれに、生ワクチンを飲んでいない人が感染するというケ

婦人会・青年団の新役員決まる

五十八年度の町連合婦人会長と各校区婦人会長それに青年団役員が次のとおり決まりました。

■町連合婦人会々長・健康を守る婦人の会高森分会長 山村 文子
■校区婦人会長(一)内は会員数
高森 (七九〇) 松野 博子
色見 (一三〇) 岩下代美子
上色見 (九六) 楠木野ミナ子

草部南部 (一八〇) 佐伯 富子
草部北部 (二〇〇) 佐藤 恵子
野尻南部 (一六五) 野尻 悦子
野尻北部 (七三) 熊川 礼子

■高森町青年団役員 △団長 渡辺博実 △副団長 佐藤武文、佐藤由美 △総務部長 林淳一 △体育部長 白石浩 △文化部長 田上浩尚

△社会部長 野尻計介 △産業部長 楠木野秀喜 △レク部長 鶴林文男
△事務局長 津留寿

全国青年農業者 会議に参加して

町青年農業者クラブ 山田 光士

第二十二回全国青年農業者会議が三月九日から十一日にか

け、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、熊本県を代表して本町色見の山田光士さん(二三)高森町青年農業者クラブがこれに

参加、全国の各県代表約六百人とともに、「村づくりに果たす役割」について研究・討議しました。以下は山田さんのレポートです。

第二十二回全国青年農業者会議が三月九日から十一日にか

け、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、熊本県を代表して本町色見の山田光士さん(二三)高森町青年農業者クラブがこれに

参加、全国の各県代表約六百人とともに、「村づくりに果たす役割」について研究・討議しました。以下は山田さんのレポートです。

第二十二回全国青年農業者会議が三月九日から十一日にか

け、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、熊本県を代表して本町色見の山田光士さん(二三)高森町青年農業者クラブがこれに

参加、全国の各県代表約六百人とともに、「村づくりに果たす役割」について研究・討議しました。以下は山田さんのレポートです。

第二十二回全国青年農業者会議が三月九日から十一日にか

け、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、熊本県を代表して本町色見の山田光士さん(二三)高森町青年農業者クラブがこれに

参加、全国の各県代表約六百人とともに、「村づくりに果たす役割」について研究・討議しました。以下は山田さんのレポートです。

第二十二回全国青年農業者会議が三月九日から十一日にか

け、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、熊本県を代表して本町色見の山田光士さん(二三)高森町青年農業者クラブがこれに

農業の問題点を討議

村づくりに果たす役割も



で問題なのは、自由化に関することです。自由化にならなくて、輸入枠の拡大はまぬがれないでしょう。そこで私たちは何をすべきか、どうやって自由化に対抗していかなければならないかなど解決策

を見出す必要があります。でも、とやかく周りのことを言うよりも、自分の足元、自分の経営確立に努めることが自由化に対抗できる姿勢ではないでしょうか。日本の農業はいま大変難しい局面に立たされていますが、このような情勢の中で、農業が安定的に発展していくためには、農業の生産構造の改善と需要の動向に即応し得る生産体制を確立することが必要です。この会議で「村づくりに果たす私たちの役割」がテーマとして取り上げられたのは、私たち若者にこれからの活動が大きく期待されている時期だからです。これからの地域農業の振興は、地域のリーダーを中心とした話し合いの場を多く持ち、共同活動の中で住民の連帯感を盛り上げながら、自主性のある体制づくりを行うことが必要だと思っています。

いま、私は大変農業というものに魅力を持っています。これから先どんな農業情勢にも惑わされずに自分の経営確立に努め、農業をこれから背負っていく全国の仲間と肩を組み、汗を流し、農業を一生の宝としてがんばっていく決意を固めています。

13人の農業委員決まる

任期満了に伴う農業委員の選挙は、三月十五、十六日の届出期間内に定数を超える立候補者がいなかったため、次の十三人の届出者を当選人と決定しました。

なお、推薦の新委員は五月中旬に決定される予定です。

阿南 万(50) 草部
小島 一心(47) 芹口
穴見 毅(47) 永野原

山下 輝雄(53) 矢津田
色見 巖(59) 色見
徳丸 晴雄(54) 上色見
松尾 敏幸(48) 高森
下田巳喜男(54) 高森
桐原 正末(56) 高森
鶴林 寿典(54) 河原
加来 結雄(50) 津留
甲斐 智(48) 野尻
瀬井 隆一(58) 尾下

甲斐、野中さん 優賞に

第23回県農業コンクール

第二十三回県農業コンクール大会(県、熊日、農協中央会など農業団体主催)の自立経営部門で、高尾野の甲斐広国(四〇)ヤスコ(三七)ご夫婦が優賞に選ばれ、また農業新人王部門でも下色見の野中謙三(二六)さんが、同じく優賞を獲得されました。

このコンクールは、県が熊本農業の振興発展に寄与している優秀な農家、組織などを選抜表彰して

いるもので、自立経営、農業新人王、組織農業、創意開発の四部門が設けられています。受賞した甲斐さんご夫婦は、草地を利用した畜産と、耕地の大部分を占める畑で高冷地を生かした野菜、陸稲、たばこなどを基幹作物として経営改善に取り組み、所得の増大に努めているのが認められたもの。また、一方の野中さんは、陸稲、赤牛、スイカを始め、新作物ブロッコリーの試作を組み合わせた複合経営に取り組み、活力ある農業の実践が受賞の対象となりました。



甲斐さん

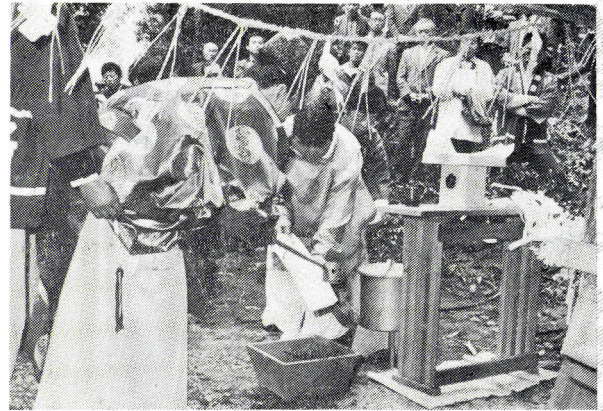


野中さん

32年ぶり「衣そそぎ」

＝上色見洗川地区＝

阿蘇青年会議所が再現



妙見さんで行われた「衣そそぎ」の神事

本町の洗川地区で四月十七日、古代神話に彩られた「衣そそぎ」の神事が阿蘇青年会議所（小笠原徹朗理事長）の手によって三十二年ぶりに再現されました。

「衣そそぎ」の神事は、阿蘇開拓の神「健甕竜命」（タケイワタツノミコト）が一の宮から日ノ尾峠を越え、妃神の草部吉見神社の実家に出掛けた帰路、上色見で小休止した際、家臣たちがミコトの汚れた着衣を洗い干したという故事にちなんだもので「色見」「洗川」「掛干」といった地名もそこからきています。

この日は、ミコトの子孫にあたる阿蘇神社の神官、阿蘇惟之さん

と小笠原理事長らが二頭の馬に乗り、一の宮町の阿蘇神社を出発。日ノ尾峠を越え、洗川地区まで三十二ギを歩いてやってきました。

五月十一日から二十日までの十日間、春の全国交通安全運動が行われます。

交通事故による死者数は昭和四十六年以降年々減り、おおむねピーク時の半分になりましたが、交通事故の発生件数と負傷者数は、近年増える傾向にあり、死傷者は

神事は「妙見さん」と呼ばれる小さな池のほとり、地元の人や阿蘇青年会議所会員など約百人の見守る中で、狩衣をつけた阿蘇惟之さんが真新しいさらし一反にヒシヤクで水を三度流しかけ、それを五百層ほど離れた掛川地区にあ

る天神さんで干しました。
「衣そそぎ」の神事は昭和二十六年に行われたことがあり、今回は三十二年ぶり。本来は大宮司の代がわりに行われるものだけに、集まった人も興味深く見守っていました。

健康で明るい町作り

国保家庭に無償で救急箱

町では、このほど町内の国保家庭千七百三十六世帯（五千九百八十一人）に医薬品を入れた「救急箱」を無料で配布しました。

箱は高さ十二センチ、幅十五センチ、長さ二十五センチのプラスチック製。なかには体温計、ハサミ、ピンセット、綿棒から脱脂綿、オキシドール、カットパンなど外傷用の常備薬と器具十二種が収められています。

町では数年前から「健康で明るい町づくり運動」を提唱しており、町の国保会計はいたって健全、三カ年以上保険を使ったことがない

す。市価で二千五百円以上もしますが、町の業組合で一括購入したため千七百八十円、これを無料でサービスしたものです。各家庭では「とっさのときに大変助かります」と好評。

町では数年前から「健康で明るい町づくり運動」を提唱しており、町の国保会計はいたって健全、三カ年以上保険を使ったことがない



健康優良家庭が十六世帯、一カ年以上が六十七世帯もあります。
国保係では「新しい被保険者証の交付と同時に救急箱を国保家庭に渡しましたが、まだ受取っていない家庭がありましたら、旧保険証を持って役場へおいでください」といっています。写真に配布した救急箱

交通安全の推進をすすめる

年間六十万人を超えています。

今回の運動は、さらに一層交通事故の防止を図るため、すべての人が正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけていただくことを目標に、①歩行者および自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止、②二輪車の安全利用、特に交

差点での安全確認の励行とヘルメット着用・昼間点灯の徹底、③安全運転の確保、特に安全速度の励行とシートベルト着用の推進——の三項目を重点に、幅広い国民運動を展開することとしています。

熊本県でも「思いやりこころと心でゆずりあい」「茶の間で語り

交通安全」をスローガンに、県民総ぐるみ運動が推進されます。この時期は飛び石運休もあり、行楽に出かける家族向けの交通安全指導を行うほか、運転者に対しては無謀運転の防止やシート着用を呼びかけます。また、最近では自転車や原動機付自転車の事故も増えています。このため、これらを利用している皆さんにも正しい交通ルールと運転マナーを指導していくことになっています。